

第5号様式(第7条関係)

会議録

会議の名称	令和7年度清須市健康づくり推進協議会
開催日時	令和7年10月15日(水) 午後2時～午後3時
開催場所	清須市役所 北館2階 第1・第2会議室
議題	<p>1. あいさつ</p> <p>2. 委員の紹介</p> <p>3. 協議</p> <p>(1) 健康日本21清須計画(第3次)・清須市自殺対策計画(第2次)の推進</p> <p>(2) 清須市保健事業</p> <p>4. その他</p>
会議資料	<p>会議次第</p> <p>資料1 清須市健康づくり推進協議会委員名簿</p> <p>資料2 清須市健康づくり推進協議会設置要綱</p> <p>資料3 令和7年度 健康づくりワークショップ</p> <p>資料4 清須市保健事業(資料4-①～4-⑤)</p>
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	0人
出席委員	加藤委員、近藤委員、塙崎委員、栗木委員、小川委員、時田委員、向山委員、伊藤委員、入山委員、小出委員、猪子委員、佐橋委員
欠席委員	山口委員、南委員、清水委員
出席者 事務局	<p>[健康福祉部] 丹羽部長</p> <p>[健康福祉部 健康推進課] 古川次長兼課長、坂下課長補佐、岡田課長補佐兼感染症予防係長、西村健康づくり係長</p> <p>[健康福祉部 高齢福祉課] 鳥居介護予防係長</p> <p>[健康福祉部 こども家庭課] 三島課長補佐兼母子保健係長</p> <p>[市民環境部 保険年金課] 幸村課長補佐兼健康増進係長</p>
会議録署名委員	時田委員、伊藤委員
会議の経過	<p>1. あいさつ</p> <p>事務局：ただ今から令和7年度清須市健康づくり推進協議会を開会いたします。</p> <p>はじめに健康福祉部長丹羽より、ご挨拶申し上げます。</p> <p>～丹羽部長あいさつ～</p>

2. 委員の紹介

事務局：委員の紹介ですが、資料1清須市健康づくり推進協議会委員名簿をご覧ください。今年度、団体役員の変更により、スポーツ推進委員 猪子修様を新たに選任させていただいています。

それでは次第3協議です。議事進行につきましては昨年度に引き続き、加藤会長、議事進行をお願いいたします。

加藤会長：昨年度は皆様からいろいろご意見いただき、計画を策定しました。私も厚生労働省の方針を改めて見直しました。個々に対しての支援、ライフコースアプローチを踏まえ、生まれてから命を終えるまで、全体を見て初めてわかること、総合的に見て考え、良い健康づくりができると良いと思います。全体に対してのアプローチをしていこうという言葉がしばしば出てきて、今までより踏み込んだ計画だと思います。私も内科医として主に呼吸器系ですが、赤ちゃんから高齢者まで、疾患だけでなく総合的に考え、全体に対して健康づくりができたらと思います。皆さんの意見をお伺いしながら、有意義な会議にしていきたいと思います。それでは、議事に入ります前に、本日の会議録の署名委員を指名させていただきたいと思います。時田委員と伊藤委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員：はい。

加藤会長：ありがとうございます。それでは議事に入ります。本日は次第にありますように、議題3、(1)健康日本21清須計画(第3次)・清須市自殺対策計画(第2次)の推進、(2)清須市保健事業です。それでは、事務局より説明をお願いします。

3. 協議

(1) 健康日本21清須計画(第3次)・清須市自殺対策計画(第2次)の推進

(2) 清須市保健事業

(事務局より、資料3、資料4-①～4-⑤を説明)

加藤会長：ただいまの説明についてご意見、ご質問等のある方はいらっしゃいますか。

入山委員：健康づくりリーダーですが、後継者育成はどうしていくのか、もう一つはげんき大学の卒業生が実際に主体となって教室をやっておられるのか。

事務局：健康づくりリーダーの養成はあいち健康プラザで実施しております。養成講座等については今後も啓発をしていきます。

事務局：げんき大学の卒業生の方は、実際に何%の人が活躍できたというデータは取つていませんが、いこまいか教室等でげんき大学の卒業生という方が活躍されています。卒業された方の活躍の情報共有を図るため、年に1回卒業生を中心とした同窓会を開催しています。

入山委員：健康づくりリーダーですが、養成講座の会場までの交通費を補助している市町がありますので、ご検討いただければと思います。

事務局：ご意見の内容については、他市町の状況を確認していきたいと思います。

加藤会長：他にご質問、ご意見等いかがでしょうか。では、今回初めて参加いただきまし

た猪子委員、スポーツ推進委員の立場から何か一言お願いします。

猪子委員：スポーツに参加していただくことが一番だと思います。なかなか参加していくのもままならない状況でもありますので、積極的に参加していくことが健康に繋がっていくと思っております。食育まつりでは清須ウォークを開催しますので皆様ご参加ください。別件ですが、任意予防接種で、インフルエンザワクチンのフルミストについて、ワクチンが不足しているという話を聞いたのですが、申し込めば必ず接種できるのでしょうか。

加藤会長：日本では昨年ぐらいから始まったワクチンで、今年度から市の補助をいただけるようになったということです。先ほど事務局から説明があったように、2歳から18歳までの子どもに対しての補助です。流通量の懸念についてのご質問ですが、現在は予想より接種希望の方が多いと思いますが、医療機関によって様々だとは思います。小児科専門の医療機関ですと受付が終了しているところはあると思いますが、ワクチン自体が枯渇して実際に接種できなくなるということは今年度はないと思います。

佐橋委員：今、賛否いろいろあると思いますが、スマートフォンやSNSによって自殺というのが報道されています。豊明市が1日のスマホの使用時間を2時間までという条例案が議会で可決しております。この件について、清須市は検討していますか。

事務局：スマートフォンの利用時間の条例について、全国ネットでニュースが流れました。清須市では今のところ条例を策定する予定はありません。

佐橋委員：自殺に対してですが、夏休みを過ぎると自殺が増えるデータがありますが、清須市は子どもの自殺の実態は実際にありますか。

事務局：こちらの方では把握ができていません。夏休み以降に不登校になったりしますので、夏休み前にこころのアプリのチラシ配布や、小中学校と連携して健康教育を実施しています。

佐橋委員：ありがとうございました。市全体が考えて、規制をするわけではないですが、状況を認知することも、必要ではないかと感じております。

加藤会長：ご意見はごもっともだと思います。報道が大きくされてから、児童精神科の先生方がいろいろコメントされています。時間を決めたり、2時間の使用ならいいのか、SNSのあり方やスマートフォンの使い方について、子どもを育てる保護者の方や見守る先生方も含めて、SNSの使い方について、1つの目安等を皆で勉強して、時間を決めて行うのがいいと思います。ニュースに匿名での書き込み等、社会全体がこのスマートフォンの使い方やSNSのあり方をもう少し考えていいけるといいと思います。

近藤委員、何かご意見いかがでしょうか。

近藤委員：歯科についてですが、病気は口からくるのではないかと思います。子どもの口腔について、特に園児や小学生の状態が良くないので、今、健診内容を見直しています。歯科に関しては多職種連携が必要となりますので、相互の理解が大

切だと感じています。

加藤会長：全体の講評を保健所栗木所長お願いします。

栗木委員：国のプロジェクトがあり、今回の計画は誰1人取り残さないというのがキーワード、それから実際に計画を立てて、活動につなげようというところになっていると思います。まさに、そういったところについては身近な自治体ということで、市の役割が大きくなっていると思います。また、夏休み中は大丈夫でも、休み明けに学校に行きたくないという子ども達がいるようです。保健所として、地域も含めて健康づくりに取り組み、良い結果になってそういうところの橋渡しができればいいと思っております。

加藤会長：今のお話の中で、大学の立場として、学生達と接している小川先生、ご意見いかがですか。

小川委員：健康とは少し違うかもしませんが、今の学生達は社会人としての常識がない方が多い印象です。先生に対して、普段のしゃべり言葉でメールしたり、挨拶はしない等、小さい頃からしっかりと教育されていないという感じはしています。

加藤会長：そうですね。人として成長した時にもう少し自覚を持っていただけたと嬉しいというのはありますね。

いろいろご意見いただきましてありがとうございました。皆様のご協力によりまして、会議を円滑に進めることができました。

それではマイクを事務局へお返しします。

4. その他

事務局：続きまして次第4その他です。本日、机上にCOPD講座「はい元気講座」、「女性のための健康講座」、「ゲートキーパー養成講座」のチラシを配付させていただきました。講座の中でも健康計画の啓発をしていきたいと思っております。事務局からは以上です。

これをもちまして、令和7年度清須市健康づくり推進協議会を閉会いたします。今後ともよろしくお願ひいたします。

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するためにここに署名します。

令和7年11月4日 署名委員 時田 繁一

令和7年11月4日 署名委員 伊藤 千里

会議の結果	会議の経過に示したとおり
問い合わせ先	健康福祉部 健康推進課 052-400-2911 内線2014・2050

